

浜の情報：県央水産業普及指導センター
令和2年11月12日

西海市立大崎中学校で水産教室を開催しました。

長崎地区漁業士会では、10月15日に、西海市大島町の大崎中学校1年生37名を対象に水産教室を開催しました。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら、例年のような調理実習（地元で昔から伝わるすり身づくり）はできませんでしたが、その替わり、校外活動と講義を行いました。

まず午前中は、山下会長によるロープワークの指導と、西海大崎漁協と地元養殖業者の協力による養殖トラフグへの餌やり体験を実施。はじめは、不安定な筏の上を、怖くて歩けない生徒もいましたが、それもすぐに慣れ、楽しそうに餌やりをしていました。

午後からは、「ながさきの水産業 -魚が食卓に届くまで-」と題し、水産業の魅力について講義を実施。山下会長からは、「漁業者は獲るだけが仕事ではなく、藻場保全等、自然環境を守る仕事もしていること」、「農林水産業は、西海市の基幹産業。本日の話を聞いて、この中から水産業を目指す人が出てくれることを期待したい。」とのメッセージが伝えられました。また、西海市水産課の松尾主事は、仕事のやりがいについて、「漁業者から『ありがとう』と言われた時」とエピソードを交えて説明。生徒たちはその話に熱心に耳を傾けていました。



ロープワーク実習



養殖魚への餌やり体験



講話①（山下会長）



講話②（西海市水産課）